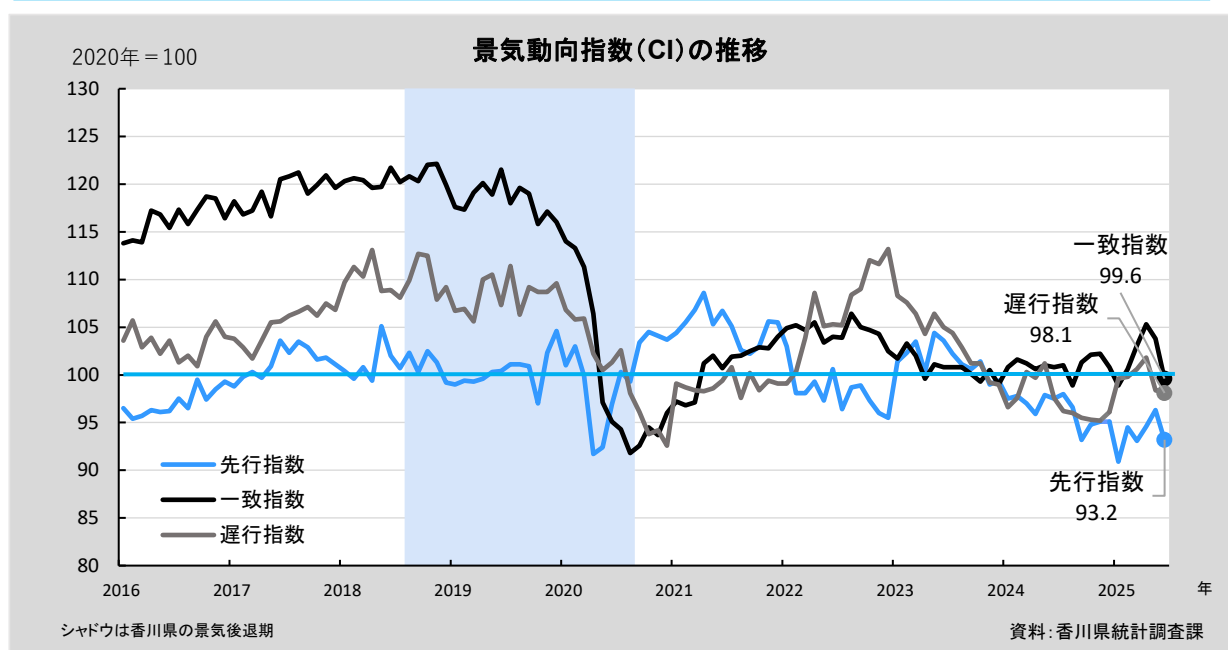


概況	持ち直している。
個人消費	緩やかな増加基調にある。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直しの動きに弱さがみられる。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出、輸入ともに減少している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわ CI)

一致指数 2 カ月連続下降



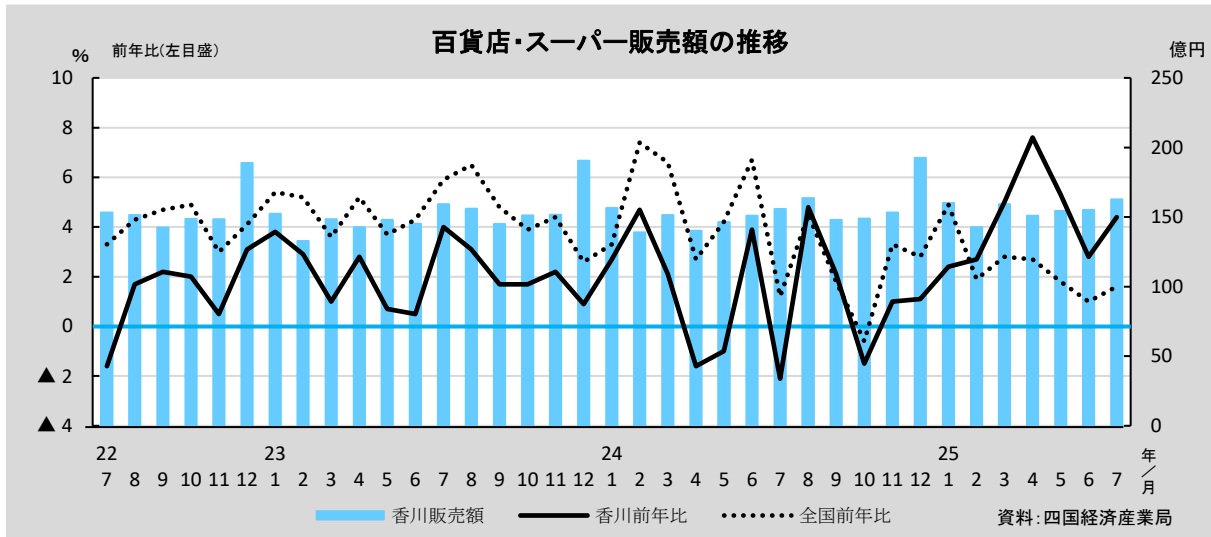
景気の現状をみると、6月のCI一致指数は99.6（前月比▲4.2ポイント）と2カ月連続で下降。CI先行指数は93.2（同▲3.1ポイント）と3カ月ぶり下降。CI遅行指数は98.1（同▲0.3ポイント）と2カ月連続で下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、建築着工床面積、雇用保険受給者実人員等が下降に寄与し、前月から4.2ポイントの下降となった。

先行系列		寄与度	一致系列		寄与度	遅行系列		寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	▲ 1.12	1 雇用保険受給者実人員	▲ 0.96	1 常用雇用指数	0.23		
	2 乗用車新車登録台数		2 有効求人倍率	▲ 0.78	2 有効求職者数	▲ 0.30		
	3 鉱工業在庫率指数	▲ 0.14	3 所定外労働時間指数	0.28	3 消費者物価指数	▲ 0.27		
	4 新設住宅着工戸数	▲ 3.32	4 鉱工業生産指数	▲ 0.63	4 家計消費支出	▲ 0.28		
	5 金融機関貸出残高		5 鉱工業出荷指数	▲ 0.14	5 鉱工業在庫指数	▲ 0.07		
	6 消費者態度指数	1.46	6 建築着工床面積	▲ 1.64	6 法人事業税調定額	0.17		
			7 百貨店・スーパー既存店販売額	▲ 0.39	7 第3次産業活動指数	0.22		

●百貨店・スーパー販売額

9 カ月連続増加

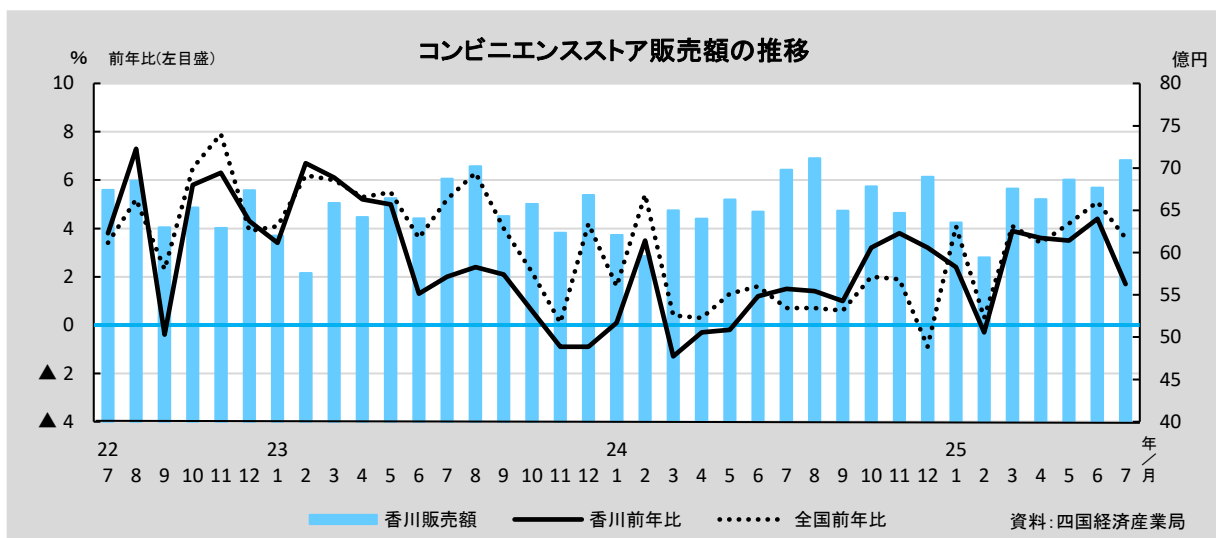


2025/7月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	992	649	12,218	18	52	740	1,594	6	16,270
前年同月比(%)	▲ 5.0	▲ 7.8	6.0	▲ 23.0	▲ 16.7	0.5	7.1	▲ 3.2	4.4

7月の百貨店・スーパー全店(90店)の販売額は162.7億円で、前年同月比+4.4%と9カ月連続で増加した。「飲食料品」は米の高値が続いているほか、猛暑の影響で飲料などの動きが良く、同+6.0%と前年を上回った。一方、「身の回り品」は同▲7.8%、「衣料品」は同▲5.0%と減少した。

●コンビニエンスストア販売額

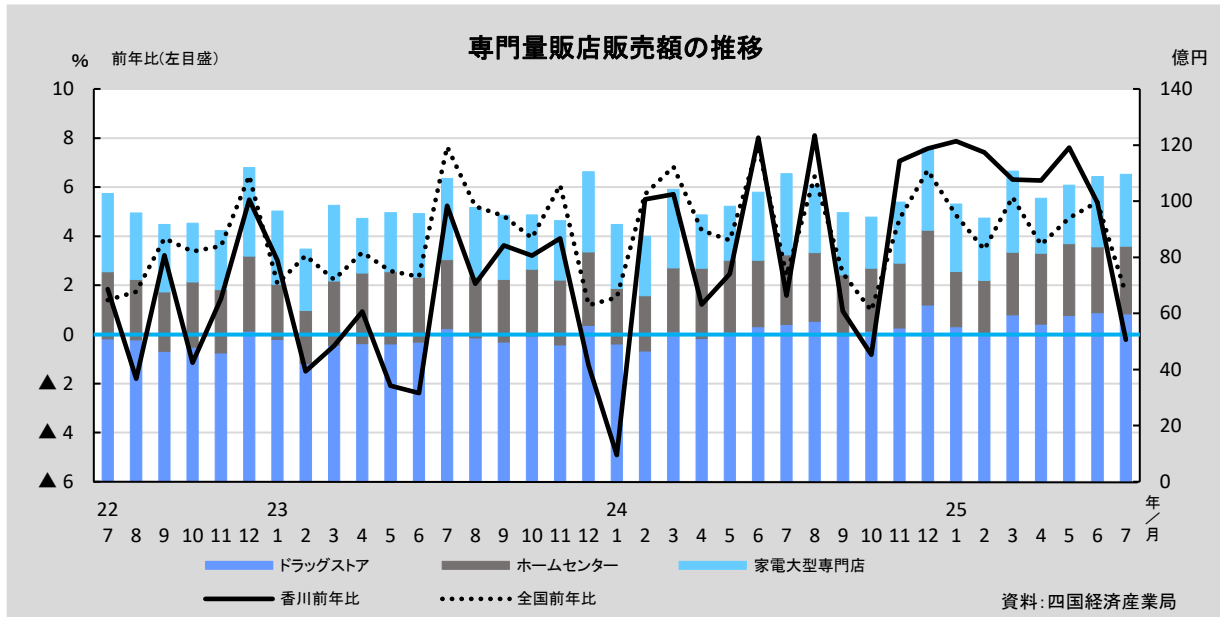
5 カ月連続増加



7月のコンビニエンスストア全店(407店)の販売額は71.0億円で、前年同月比+1.7%となり、5カ月連続で増加した。

●専門量販店販売額

9 カ月ぶり減少

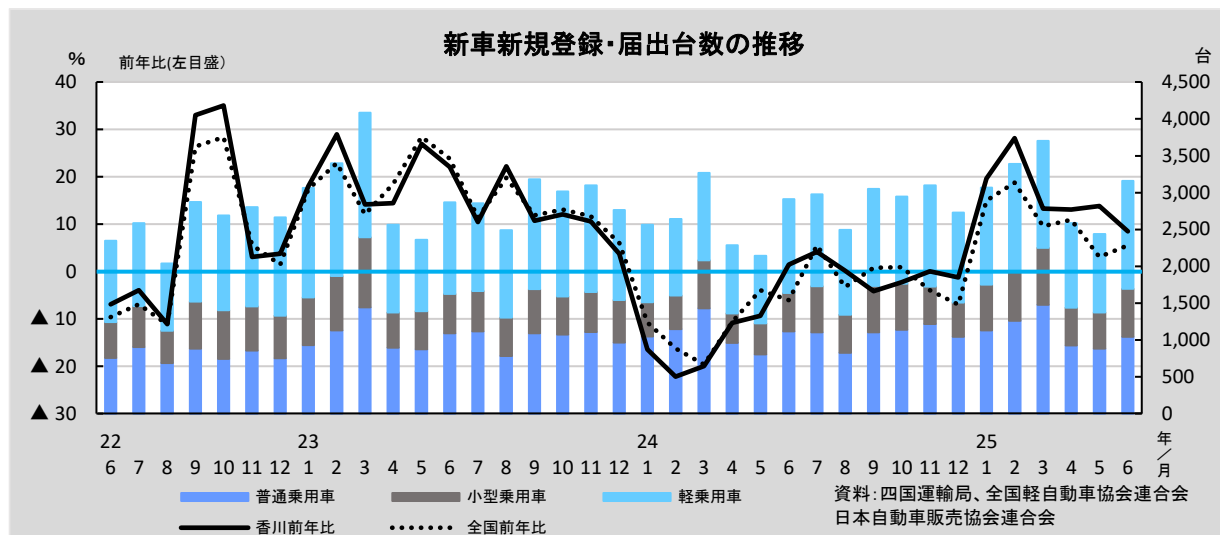


7月の専門量販店全店（231店）の販売額109.6億円で、前年同月比▲0.2%と9カ月ぶりに減少した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（27店）の販売額は25.7億円で前年同月比▲11.5%となった。**ドラッグストア**（158店）の販売額は、59.8億円で同+6.7%となった。**ホームセンター**（46店）の販売額は、24.2億円で同▲2.5%となった。

●新車新規登録・届出台数

6 カ月連続増加



6月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は3,158台で、前年同月比+8.5%と6カ月連続で増加した。

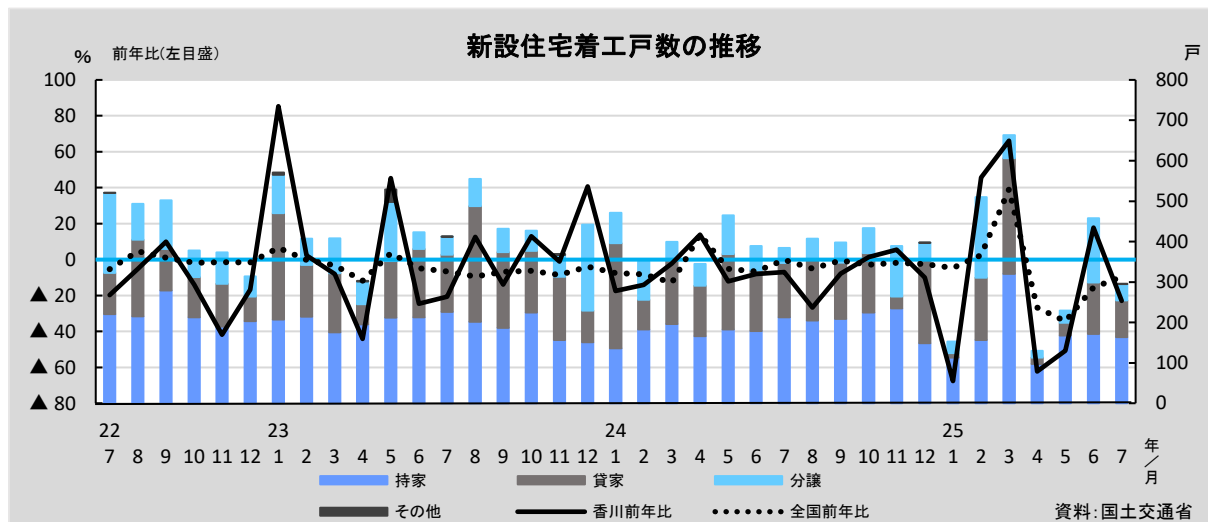
車種別にみると、普通乗用車は前年同月比▲6.7%、小型乗用車は同+25.6%、軽乗用車は同+14.9%となった。

住宅投資

低調に推移している

●新設住宅着工

2 カ月ぶり減少



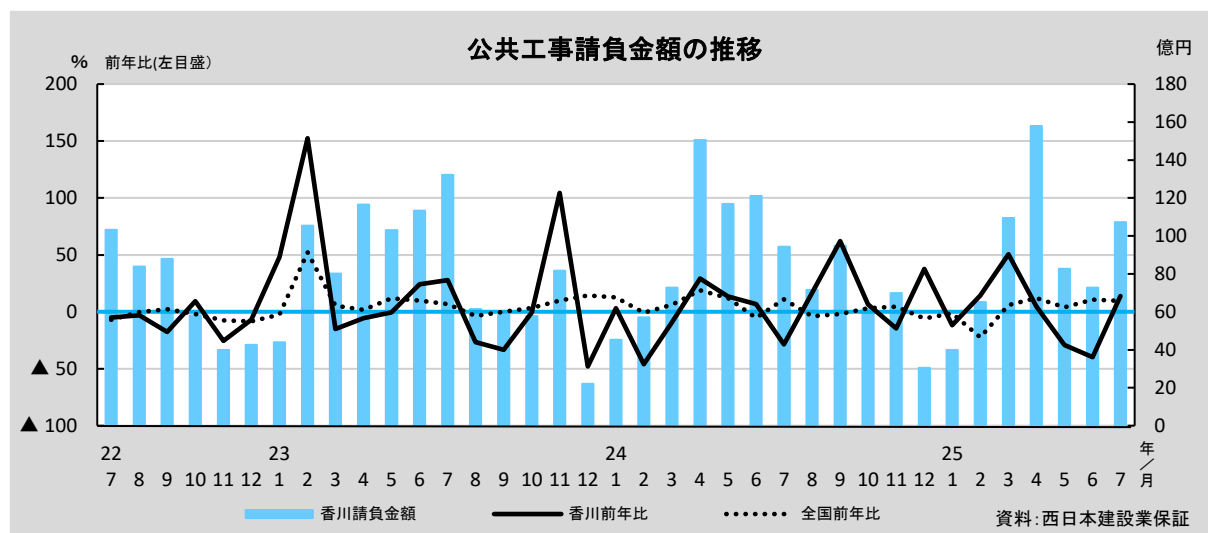
7 月の新設住宅着工戸数は 296 戸で、前年同月比▲22.9%と 2 カ月ぶりに減少した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲23.0%、**貸家**で同▲32.1%、**分譲住宅**で同+8.1%となった。

公共投資

持ち直しの動きに弱さがみられる

●公共工事請負金額

3 カ月ぶり増加



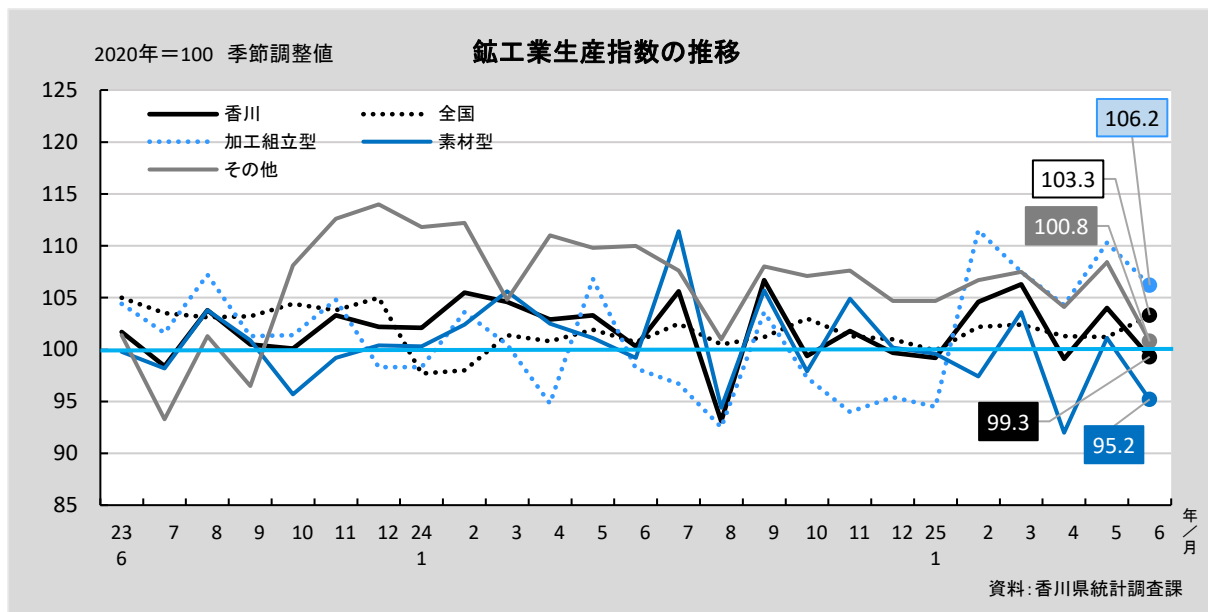
7 月の公共工事請負金額は 107.4 億円で、前年同月比+13.8%と 3 カ月ぶりに増加した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比+33.1%、**県**で同▲11.0%、**市町**で同+31.3%となった。2025 年度（4～7 月）の累計では前年同期比▲12.8%と減少している。

生産活動

横ばい圏内の動きとなっている

● 鉱工業生産指数

2 カ月ぶり低下 ↓



6月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は99.3（前月104.0）となり、2カ月ぶりに低下した。

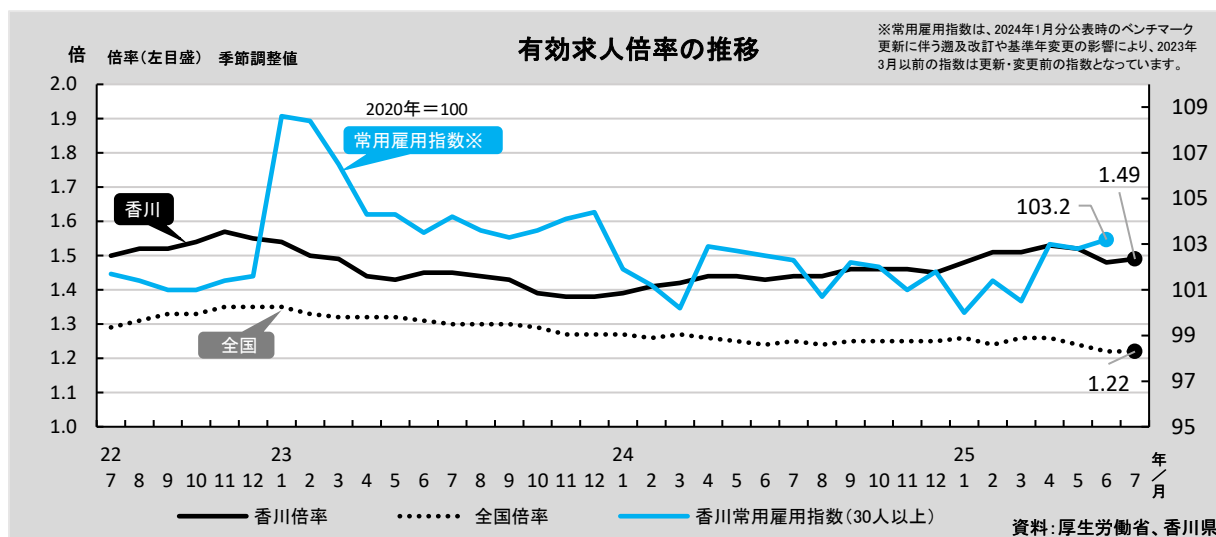
業種別では、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は前月比▲18.5%、その他業種のその他工業（木製家具など）は同▲17.7%と低下した。一方、加工組立型の汎用・生産用機械工業（建設用クレーンなど）は同+4.6%と上昇した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

3 カ月ぶり増加 ↑



7月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.49倍（全国5位）で前月より0.01ポイント上昇した。

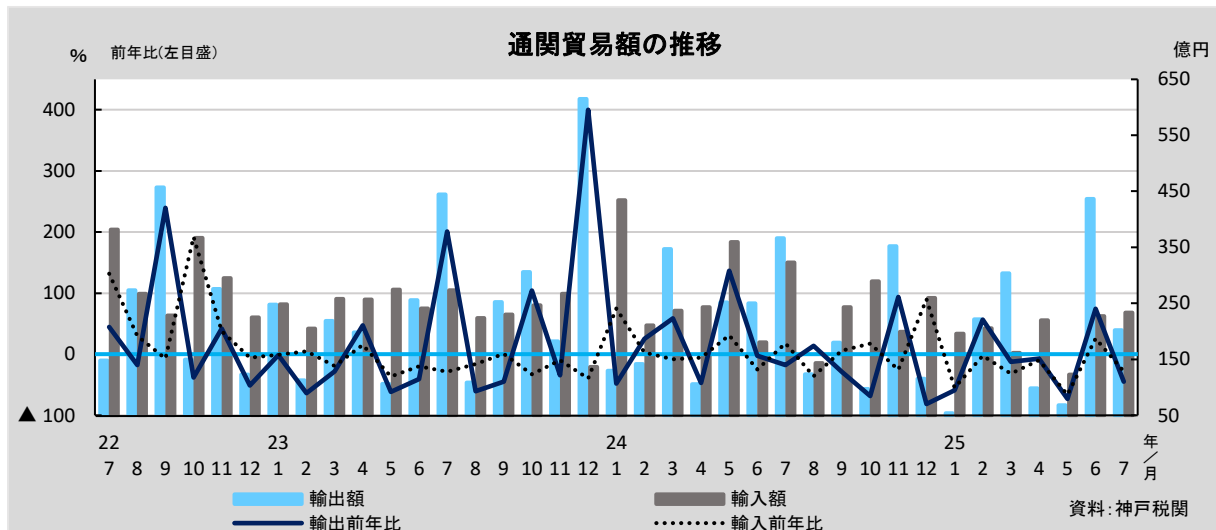
新規求人（原数値：前年同月比）は、運輸業・郵便業、サービス業（他に分類されないもの）、公務・その他等で増加となり、全体で+2.2%と2カ月連続で増加した。

6月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、103.2となり、前年同月比は+0.7と5カ月連続で増加した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.13
事務的職業	0.62
販売の職業	2.59
サービスの職業	3.18
生産工程の職業	2.39
輸送・機械運転の職業	2.29
建設・採掘の職業	5.38
運搬・清掃・包装等の職業	1.27

貿易

輸出、輸入ともに減少している

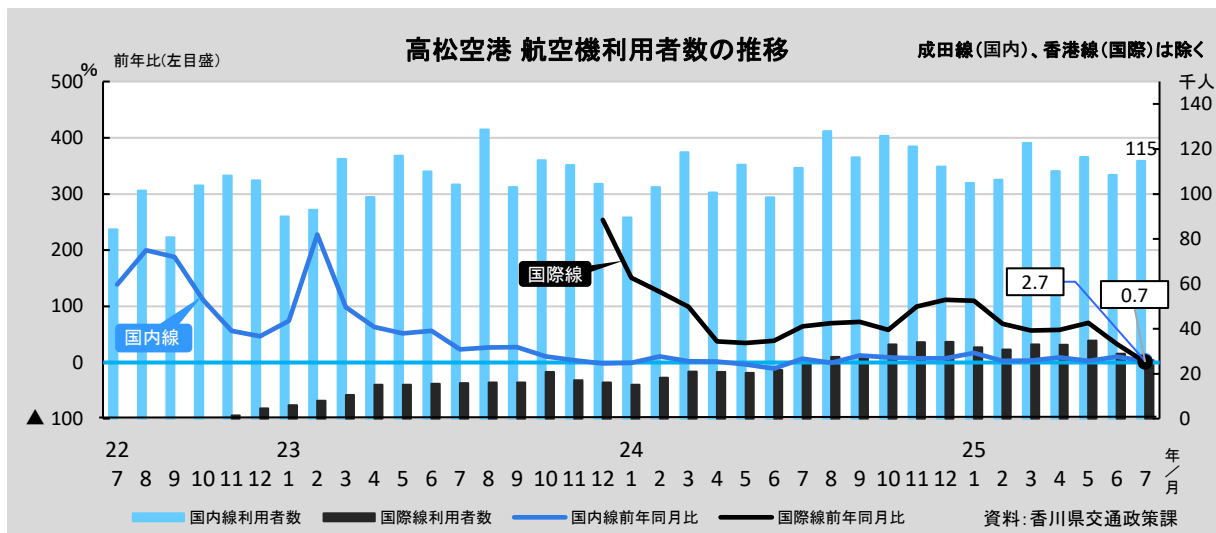


7月の輸出額は前年同月比▲44.8%の202.2億円、輸入額は同▲27.8%の233.3億円となり、差し引き31.1億円の入超となった。輸出は貨物船輸出額が前年同月比▲48.8%の139億円となり減少に寄与した。輸入は、石炭輸入額が同▲46.8%の72億円となり減少に寄与した。

交通

国内線は11カ月連続増加、国際線は21カ月連続増加

●高松空港旅客輸送実績



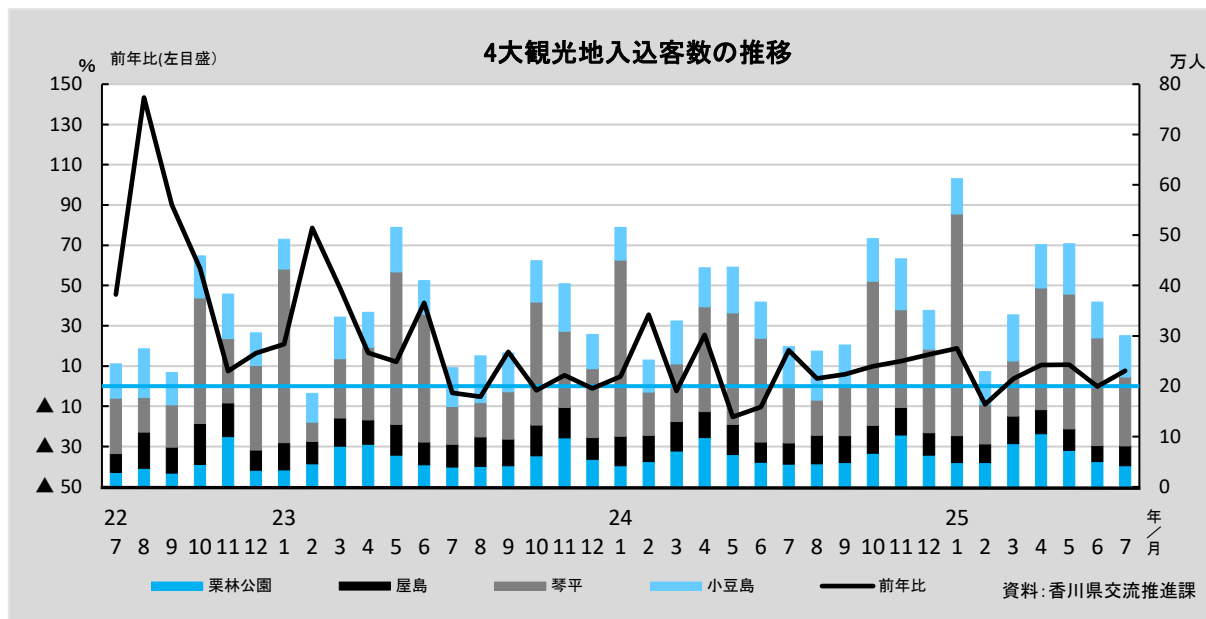
7月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が114,701人(前年同月比+2.7%)となり、11カ月連続で増加した。羽田線は106,224人(同+4.7%)、那覇線は8,477人(同▲16.8%)となった。

国際線は、ソウル線15,613人(同+7.3%)、上海線4,885人(同▲16.2%)、台北線5,649人(同+1.4%)で合計26,147人(同+0.7%)と21カ月連続で増加した。

観 光

持ち直しの動きが続いている

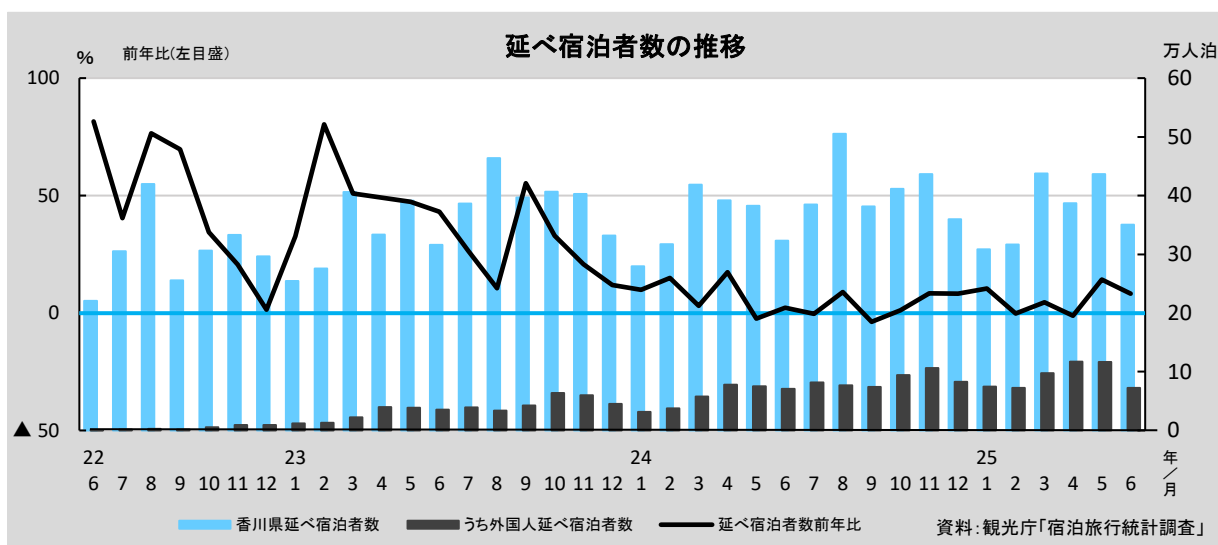
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園		屋島		琴平		小豆島		合計	
7月(人)	前年同月比	41,621	▲8.0%	39,738	▲5.5%	137,000	24.5%	81,966	0.5%	300,325	7.7%
1~7月累計(人)		451,625	7.7%	307,490	▲15.3%	1,489,000	14.8%	566,761	5.7%	2,814,876	7.6%

7月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+7.7%と2カ月ぶりに増加した。琴平は前年同月比+24.5%と大幅に増加し、小豆島も同+0.5%と増加した。一方、栗林公園は同▲8.0%、屋島は同▲5.5%と減少した。2025年(1~7月)の累計では前年同期比+7.6%と増加している。

●延べ宿泊者数



6月の延べ宿泊者数350,290人泊で、前年同月比+8.3%と2カ月連続で増加した。うち、外国人延べ宿泊者数は72,310人泊となり、前年同月比+2.5%と35カ月連続で増加した。